

第60回東日本実業団陸上競技選手権大会要項

主催 東日本実業団陸上競技連盟
後援 埼玉県・埼玉県教育委員会
熊谷市・熊谷市教育委員会
毎日新聞社
主管 埼玉陸上競技協会

1. 日時 2018年5月19日(土) 20日(日)

2. 会場 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
埼玉県熊谷市上川上 300 TEL048-526-2004

3. 種目 第1日(男子) 100m、400m、1500m、10000m、110mH、5000mW、4×100mR、
4×400mR(予)、三段跳、棒高跳、円盤投、やり投、

【シニア(35歳以上) 100m】

【視覚障害者 1500m(男女)】

(女子) 100m、400m、1500m、10000m、100mH、5000mW

走高跳、棒高跳、三段跳、円盤投、やり投

【シニア(30歳以上) 100m】

【視覚障害者 1500m(男女)】

第2日(男子) 200m、800m、5000m、400mH、3000mSC、4×400mR(決)

走幅跳、走高跳、砲丸投、ハンマー投

【シニア(35歳以上) 1500m、砲丸投、】

【視覚障害者 5000m(男女)】

(女子) 200m、800m、3000m、5000m、400mH、3000mSC、

4×100mR、走幅跳、砲丸投、ハンマー投

【シニア(30歳以上) 1500m、砲丸投、】

【招待小学生 4×100Mリレー(男女)】

※男子(5000m以上)、女子(3000m以上)の競走はタイムレースとする

4. 参加資格及び参加料

(1)平成30年度日本実業団陸上競技連合の登録競技者で東日本実業団陸上競技連盟傘下の競技者。1種目1名2,000円、リレーは1チーム3,000円。

(2)都道府県陸協登録者。(実業団未登録者)(但し中体連・高体連・学連登録者を除く)
1種目1名6,000円 2種目以降1種目につき2,000円、リレーは1チーム3,000円。

(3)シニア(男子35歳以上・女子30歳以上)種目への参加者は登録の有無は問わない。
1種目1名2,500円(保険料500円含む)、2種目目以降1種目2,000円。

(4)リレー競技に限り、上記にとらわれず臨時のチーム編成を認める。1チーム3,000円。

ただし、臨時チームで編成したチーム名はリレーのみで有効とし、個人種目に実業団登録選手として参加する場合は、個人種目には実業団登録名でエントリーしなければ全日本実業団大会への参加資格は与えられない。

5. 参加制限

(1)1人当たりの参加種目数および1チーム当たりの参加者数の制限はしない。

(2)外国人選手は全種目含め1チームの出場制限はしない。

(3)外国人選手は、前年度労働契約を締結した日以降、日本国内に滞在した日数が延べ累計120日以上（前年度が初年度の場合は180日以上・移籍後の初年度も同様）であり、連盟に登録申請した日から6か月経過していなければならない。

また今年度、学校教育法第1条に定める学校を卒業し引き続き採用された選手については日数による制限をしない。

6. 表彰 参加者全員を表彰の対象とする

(1)各種目の優勝者には選手権賞を、3位までの入賞者には賞状および副賞を授与する。

(2)成績の良い競技者若干名に「優秀選手賞」「敢闘賞」を授与する。

(3)日本記録・大会記録を更新した競技者に「新記録賞」を授与する。

(4)新人競技者(高卒2年、学卒1年)の優秀な競技者に「新人賞」を授与する。

7. 申し込み

(1)当連盟のホームページに掲載された内容により申し込む。締め切りは4月10日(火)必着。

なお、2017年4月1日以降申し込み日までの自己最高記録の記入を失念しないこと。

(2)申し込み情報に記録漏れなどの不備がある場合、申し込みを受け付けないことがある。

(3)本大会で連続10回出場になる選手は、別途『連続表彰申請書』も提出すること。

(4)参加料は銀行振込または現金書留にて、申し込みと同時に行うこと。

振込先：三井住友銀行 人形町支店

口座名：東日本実業団陸上競技連盟

口座番号：普通 908198

8. 大会時の競技者受付【重要】

(1)競技者受付において出場の意思確認を行う。レーンのある種目は、参加する意思のある競技者により当日番組を編成する。

(2)競技者受付は、競技時間の2時間00分前までに行い、それまでに出場の意思表示がない競技者は棄権とみなす。なお、出場の意思表示をした後に、けが等により出場できなくなった場合は、これまでどおり棄権届けにより対応する。

(3)当日番組編成を行う競技の番組は、競技時間の1時間30分前に招集所、補助競技場他に掲示する。なお、そのほかの種目はプログラム表示どおりとする。

9. その他

(1)個人で所有する投てき用具（やり、ハンマー、砲丸、円盤）及びポールについては、当日競技場で検査に合格したものに限り使用できる。

(2)監督会議は5月19日(土)9時30分から競技場会議室で開催する。

(3)本大会に出場した選手で、第3位までの入賞者(リレーを除く)と、別に定める標準記録突破者は、第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会への参加資格の権利を有する(競歩種目の参加資格は別に定める)。

ただし、クラブチーム(都道府県陸協登録者)としてエントリーした選手には、参加資格は得られない。

(全日本実業団対抗選手権大会へ参加したい場合は、必ず実業団登録のチーム(4.参加資格及び参加(1))としてエントリーすること。

(4)欠場する者は必ず欠場届けを提出すること。

(5)種目により男女混合で競技を実施する場合がある。

(6)ポール・やり等の送付先は競技場気付けとし5月17日(木)以降に到着するように送付する。

(7)照会先 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-10-2 神田ウサミビル601号

東日本実業団陸上競技連盟 事務局長 青木正義

(Tel03-3861-6116 Fax03-3861-7999)